

外交・内政状況

2014年7月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

【内政】

- 7日 FARCによる一方的停戦宣言及び次の交渉課題における10原則の合意
- 10日 ELNとの和平交渉開始準備に関する声明
- 15日 大統領選挙決選投票

【外交】

- 1日 オルギン外相のサンチェス・セレン・エルサルバドル大統領就任式出席
- 4日 オルギン外相の第44回OAS総会出席（於：パラグアイ）
- 17～18日 バイデン米国副大統領の当国訪問
- 19日 オルギン外相の第12回太平洋同盟閣僚級会合出席（於：メキシコ）
- 19日 サントス大統領のブラジル訪問
- 20日 サントス大統領の第9回太平洋同盟首脳会合出席
- 20～22日 憲仁親王妃久子殿下の当国御訪問
- 25日 オルギン外相のペルー訪問

II 本文

【内政】

1 FARCによる一方的停戦宣言及び次の交渉課題における10原則の合意

7日、FARCは6月9日0時から6月30日24時までの間、大統領選挙決選投票を円滑に実施するために、FARCが一方的に停戦することを再度宣言するとともに、政府との間で和平交渉の次の交渉課題「犠牲者」に関して10点の原則につき合意した。

これについてサントス大統領は、歴史的な進展であり、これら10原則の合意は、過去の政権の和平交渉では一度も扱われたことがなかった旨述べた。

一方、スルアガ候補は、決選投票のわずか1週間前にゲリラが「犠牲者」問題の存在を認めたことは、紛争被害者の権利を満たすことが目的ではなく、選挙キャンペーンに過ぎないとして批判した。

2 ELNとの和平交渉開始準備に関する声明

10日、政府とELNは、エクアドルでの和平交渉開始のための調査プロセスを開始すると共同声明を発出した。

2013年末、コロンビア政府とELNは、予備的対話を秘密裏に実施し、両者ともに交渉代表を指名し、エクアドル、ブラジル及びノルウェーが交渉プロセスにおける保証人

となっていた。2014年1月、エクアドルにおいて予備的対話が21日間実施され、4月にはブラジルにおいて20日間の会議が開催された。交渉プロセスにおける「介添役」としてベネズエラ、チリ、及びキューバが同席したとされている。

3 大統領選挙決選投票

(1) 結果

15日、8時から16時の間、当国において大統領選挙決選投票が平穩に実施され、国民登録局(Registraduria)発表の即日開票(15日 17時28分時点、開票率99.67%現在の暫定値)の結果、サントス大統領が、得票率50.92%、7,801,057票で、得票率45.03%、6,898,749票のスルアガ候補に勝利し、再選された。投票率は47.83%であった。

(2) 傾向

全体的な傾向として、サントス大統領はボゴタ市及び沿岸部で勝利し、スルアガ候補はボゴタ市を除く中部地域で勝利した。

(3) スルアガ候補の敗北宣言

暫定開票結果を受けてスルアガ候補は敗北を宣言し、民主主義を信じているため、サントス大統領の再選を祝す一方、国家ぐるみのサントス大統領再選の支援運動に対峙しつつも、健闘した旨述べた。

(4) サントス大統領の勝利宣言

サントス大統領は勝利宣言の演説において、FARCとの和平交渉の重要性につき述べるとともに、ペトロ・ボゴタ市長を含め、サントス陣営を支持した左派の指導者達にも謝意を表した。

(5) ウリベ前大統領の発言

スルアガ候補を支援していたウリベ前大統領は、サントス大統領に対する反対勢力を率いて国会で激しく対峙する意向であると述べ、サントス大統領が権力を濫用し、票の買収のために国会議員に金をばらまいた史上最大の汚職の主人公であったと非難した。

【外交】

1 オルギン外相のサンチェス・セレン・エルサルバドル大統領就任式出席

1日、オルギン外相は、サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領就任式出席のため、同国を訪問した。

2 オルギン外相の第44回OAS総会出席(於:パラグアイ)

4日、オルギン外相は、第44回OAS総会に参加するため、パラグアイを訪問した。同総会中、オルギン外相は、ベアード・カナダ外相、スティール・グレナダ外相、スケリット・ドミニカ国首相兼外相、ゴンサレス・コスタリカ外相、ドゥークラン・トリニダード・トバゴ外相、アルバレス・デ・ソト・パナマ外相、ハウア・ベネズエラ外相、ジェイコブソン米国国務次官補、インスルサOSA事務総長と個別に会談した。

3 バイデン米国副大統領の当国訪問

17～18日、バイデン米国副大統領が当国を訪問した。18日、バイデン副大統領はサントス大統領と会談し、FARCとの和平交渉の進展について協議した。同会談には、ピンソン国防大臣及びデ・ラ・カジェ和平交渉団長も参加した。

4 太平洋同盟枠組協定の再議決及びオルギン外相の第12回太平洋同盟閣僚級会合出席 (於：メキシコ)

17日、憲法裁判所が違憲判断を下した太平洋同盟枠組協定について、上院及び下院本会議で再審議の上、再議決された。

19日、第12回太平洋同盟閣僚級会合がメキシコで開催され、オルギン外相及びロハス商工観光大臣が参加した。

同会合参加の機会に、オルギン外相は、同19日、ベアード・カナダ外相と会談し、コロンビア人によるカナダ査証取得の際の発給遅延問題につき協議した。

20日、オルギン外相は、太平洋同盟と32カ国のオブザーバー国間の会合の議長を務めた。

5 サントス大統領のブラジル訪問

19日、サントス大統領は、W杯のコロンビア対コートジボワール戦を観戦するためにブラジルを訪れた際、ルセーフ・ブラジル大統領と会談した。同会談において、経済、貿易、学生交流、協力事業、地域情勢等が協議された。ルセーフ大統領は、サントス大統領の再選に祝意を表した。

6 サントス大統領の第9回太平洋同盟首脳会合出席

20日、第9回太平洋同盟首脳会合がメキシコで開催され、サントス大統領は、持ち回り議長国をペニャ・ニエト・メキシコ大統領に引き渡した。また、同会合においてメキシコは、2014年第4四半期にメキシコ証券市場(BMV:Bolsa de Mexicana de Valores)をコロンビア、ペルー、チリによるラ米統合証券取引所(MILA)へ統合することを明言した。

7 憲仁親王妃久子殿下の当国御訪問

20～22日、高円宮妃殿下が、日本の皇族として初めて当国を御訪問された。日本サッカー協会名誉総裁である妃殿下は、コロンビア・サッカー連盟所有のトレーニング・センターをボテロ・スポーツ庁長官の案内のもと御視察されたほか、コロンビアの自然も御視察になられた。

8 オルギン外相のペルー訪問

25日、ペルーにおいて、ペルー、ボリビア、エクアドル、チリ、アルゼンチン及びコロンビアが共同推薦していた「インカの道(カパック・ニャン)」の世界遺産一覧記載記念式典がウマラ・ペルー大統領主催で開催され、オルギン外相が出席した。

(了)